

# メモカス留置方法（透視下）

## 透視下メモカス留置に必要な器材

- |  |  |
|--|--|
| 1) メモカス O28TW【持込み品】                        | 11) ディスポシリンジ 50ml（温水用）、3ml 又は 5ml（バルーン用） |
| 2) 10Fr.（又は 12Fr）腎盂バルーンカテーテル（ロングタイプ）【持込み品】 | 12) カテーテルチップ 50ml                        |
| 3) 温度計（水温測定用）【持込み品】                        | 13) 尿道ブジー                                |
| 4) 消毒液（ヒビテン又はイソジン）                         | 14) ビーカー500ml（生理食塩水）、50ml（造影剤用）          |
| 5) 手術用手袋（術者用）                              | 15) 無鉤ドレッシングピンセット                        |
| 6) 80℃以上の生理食塩水 200ml、使用時 60℃に湯温調整          | 16) 膿盆                                   |
| 7) 生理食塩水 500ml（室温）                         | 17) 尿瓶                                   |
| 8) 局所麻酔剤（キシロカインゼリー30ml）                    | 18) 無菌ドレープ 穴あき                           |
| 9) 造影剤（イオパミロン 150 または 300）                 | 19) 無菌ドレープ シーツ                           |
| 10) X線不透過メジャーシート【持込み品】                     | 20) ガーゼ                                  |
|  | 21) ガイドワイヤー                              |

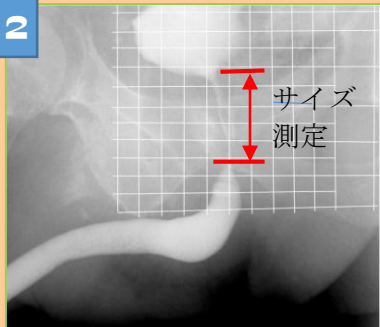
## メモカス留置方法

**1**



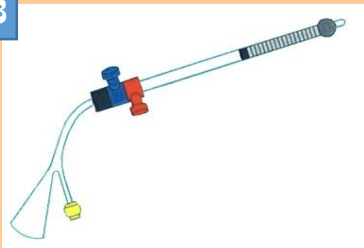
X線透視室において仰臥斜位でX線不透過メジャーシートを臀部下に敷き、尿道造影をします。

**2**



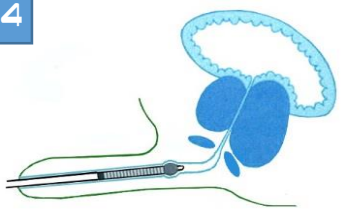
前立腺部尿道長を計測し、使用するメモカスのサイズを決定します。例…赤線間 5cm 使用するメモカスは O28TW-50mm となります。  
**【注】手術室等でCアームを使用する場合は、X線不透過メジャーシートを腹部上に置いて計測します。**

**3**




12Fr 腎盂バルーンカテーテルを先端にゼリーを付けメモカス挿入セットのシースに通します。シリンジに 0.2ml 程度の滅菌精製水等にてバルーンをステントの直径より若干大きくふくらませメモカスをシースに固定します。

**4**



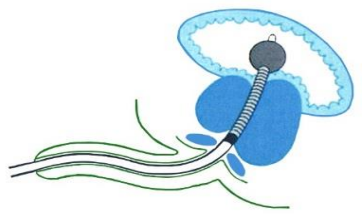
ステントにゼリーを十分に塗布し、透視下でメモカスを挿入します。メモカスの先端部が括約筋を越すまでは尿道を引き緩みの無い状態で挿入してください。

**5**



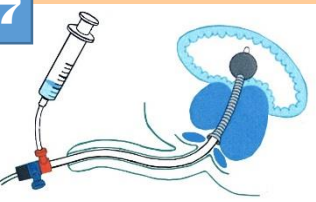
メモカスの先端を膀胱頸部より意識的に出します。

**6**



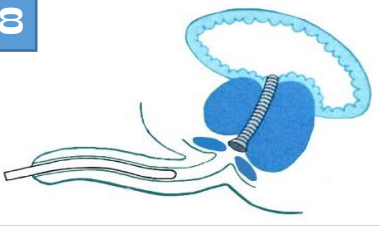
バルーンを 2~3ml 程度の滅菌精製水で大きくふくらませ、メモカス先端を膀胱頸部まで引き戻します。中葉肥大がある場合は先端を数ミリ頸部より出します。

**7**



注入水温が適正かチェックします。熱いことを事前に患者様に伝えておきます。赤いサイドポートより 55~60℃の温水を注入します。ステント端が拡張し、固定されます。

**8**



バルーンの液を完全にデフレートしてからカテーテルを抜去し、シースから尿が流れることを確認したら、シースを抜去し終了です。

**9**



尿道造影にてメモカスの位置を確認します。

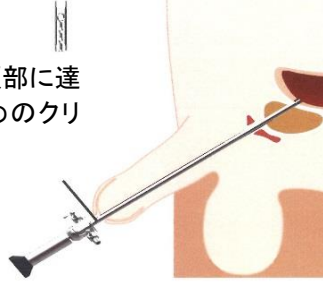
# メモカス O28TW 留置方法 (硬性鏡による留置)

輸入・発売元  
株式会社キースマック  
〒101-0064 東京都千代田区猿樂町 2-2-8  
TEL03(3292)2506 FAX03(3292)2507  
E-mail: info@kysmaq.co.jp  
URL: http://www.kysmaq.co.jp

1

## サイズ測定 1; 膀胱頸部位置

硬性鏡の先端が膀胱頸部に達したら、硬性鏡に1本めのクリップで挟みます。



6

## メモカスの挿入

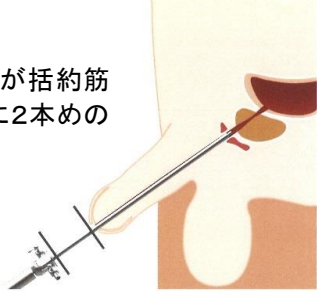
ペニスの先端からステントを送り込みます。



2

## サイズ測定 2; 括約筋位置

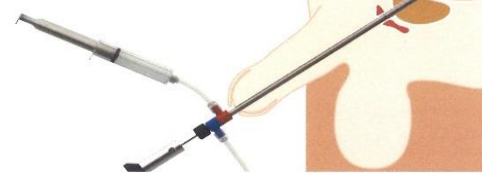
硬性鏡を引き戻し先端が括約筋部に達したら、硬性鏡に2本めのクリップで挟みます。



7

## 温水の準備

55~60°Cの温水入り注射器を温水注入チューブに取り付けます。

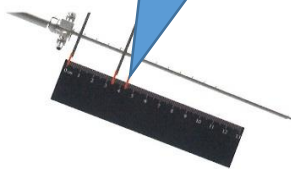


3

## ステントの選別

測定値+10mm

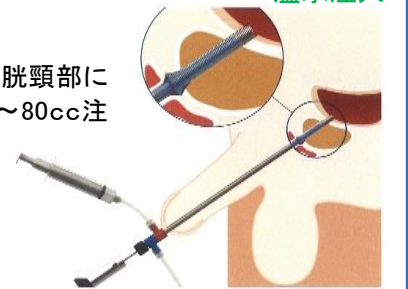
ステントサイズの決定は測定値に10mm 足し、その値を補えるサイズとします。



8

## 温水注入

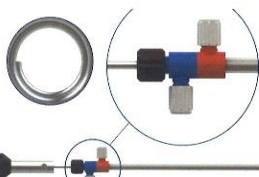
メモカス先端部が膀胱頸部に達したら温水を 50~80cc 注入してください。



4

## 挿入システムへの 硬性鏡取付け

挿入システムの黒いツマミを2、3回まわし、白色の芯棒を硬性鏡の光学視管で押し出し視野が(メモカス)コイルの2巻きになったら光学視管の送り込みをやめて、挿入システムを光学視管に固定してください。



9

## 光学視管の抜去

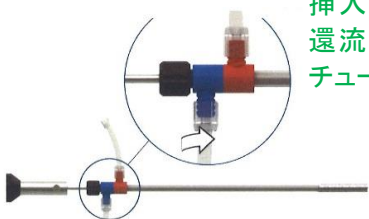
挿入システムと光学視管を引き戻しステントの拡張部を確認後光学視管をシステムから引き抜いてください。



5

## 挿入システムへの 還流液と温水注入 チューブの取り付け

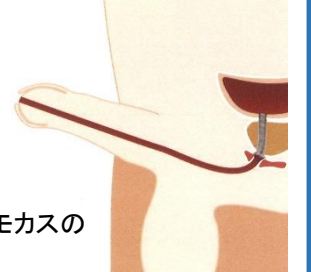
還流液を挿入システムに取り付け、同時に温水注入チューブを取り付けます



10

## メモカス留置の終了


挿入システムを抜き取りメモカスの留置が終了です。



# メモカス O28SW 留置方法 (軟性鏡による留置)

輸入・発売元  
株式会社キースマック  
〒101-0064 東京都千代田区猿樂町 2-2-8  
TEL03(3292)2506 FAX03(3292)2507  
E-mail: info@kysmaq.co.jp  
URL: http://www.kysmaq.co.jp

1 クリップ2本準備する。 **サイズ測定 1**




ペニスの位置を動かさないようにし、前立腺部の長さを測定する。

2 **サイズ測定 2; 膀胱頸部位置**



軟性鏡の先端が膀胱頸部に達したら、軟性鏡に1本めのクリップを挟みます。

3 **サイズ測定 3; 括約筋位置**




軟性鏡を引き戻し先端が括約筋部に達したら、軟性鏡に2本めのクリップを挟みます。

4 **測定値+5mm** **ステントの選別**



ステントサイズの決定は測定値に5mm足し、その値を補えるサイズとします。

5 **挿入システムへの軟性鏡取付け(1)**



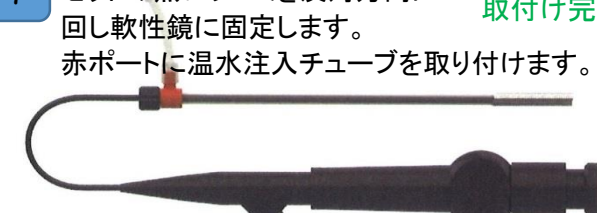
黒いツマミを 2,3 回まわし、軟性鏡の先端から白色の芯棒を押し送るように送り込んでください。

6 **挿入システムへの軟性鏡取付け(2)**




視野が(メモカス)コイルの2巻きになったら軟性鏡の送り込みをやめてください、白色の芯棒は自然に外れます。

7 **システム取付け完了**



セットの黒いツマミを反対方向に回し軟性鏡に固定します。  
赤ポートに温水注入チューブを取り付けます。

8 **メモカスの挿入(1)**




還流液を軟性鏡に取り付け、ペニスの先端からステントを送り込みます。

9 **メモカスの挿入(2)**



メモカスの先端が膀胱頸部に達するまで挿入してください。

10 **温水注入の準備**



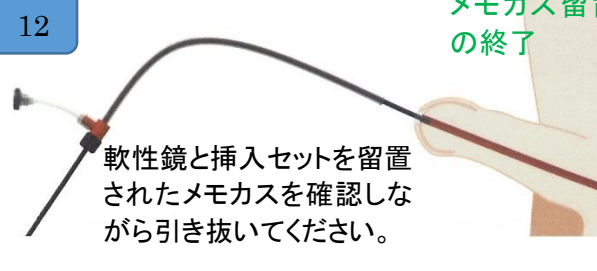
メモカス先端部が膀胱頸部に達したら55~60°Cの温水を入れた注射器(30~50cc)を取付けてください。

11 **温水注入**



55~60°Cの温水を注入します。ステントの末端が拡張し、固定されます

12 **メモカス留置の終了**



軟性鏡と挿入セットを留置されたメモカスを確認しながら引き抜いてください。